

その他

水道管の凍結を 防ぎましょう



冬の冷え込みが厳しくなり、最低気温がマイナス4度以下になると、水道管や蛇口が凍結し、破裂やひび割れを起こすことがあります。

こじった凍結が起こると、貴重な水を無駄にするだけでなく、修理費用など経済的にも大きな負担になることがあります。

特に次のような場所にある水道管は凍りやすいので注意しましょう。

- ①水道管がむき出しになっているところ
- ②水道管が北向きの日陰にあるところ
- ③水道管が風当たりの強い野外にあるところ

凍結を未然に防ぐためにも、手ぬぐい・布切れなどの身近なものを蛇口の部分に巻きつけて保温しましょう。さらにその上からビニールなどを巻きつけるのもよいでしょう。また、メーターボックスの中に使い古しの毛布・布切れ・ダンボール片などを入れて、水道メーターの凍結にも注意しましょう。

もし、水道管が凍ってしまったら、タオルや布をかぶせ、その上からぬるま湯をゆっくりかけてください。直接熱湯をかけますと、水道管が破裂してしまいますので注意しましょう。

万一、水道管が破裂してしまつたら、まずメーターボックスの蛇口側（甲止水栓）のハンドルを閉めましょう。続いて応急処置として、破裂した部分に布かテープを巻きつけ、すぐに指定給水装置工事業者へ修理を依頼してください。

問合せ先

岡上下水道グループ
☎52-11111（内線291～294）

検針員からの お願い

○犬は放し飼いにせず、出入口やメーターボックスから離れたところにしっかりとつないで

ください。

○メーターボックスの上に物を置かないでください。

○メーターボックスの中に水や泥が入らないように注意し、常にきれいにしてください。

○増改築などでメーターが床下や土中になる場合は、指定給水装置工事業者へ依頼して検針しやすい場所へ移してください。

「家庭の日」 県民運動



家庭は、子どもが家族とのふれあいを通じて基本的な生き方を身につけ、人間形成の基礎をつちかい豊かな自己を作り上げていく大切な場です。

そこで、県では子どもへの健全な成長を願い、家族みんなが顔をそろえてふれあいを深めていくための日として、毎月第3

日曜日を「家庭の日」に設定しています。

また、毎年2月を「家庭の日」県民運動の強調月間に定め、明るく対話のある家庭づくりに向け、「親と子の 対話がつくるよい家庭」をスローガンに家庭や地域社会における意識の啓発を図っています。

夫婦の間、親子の間での会話を増やしていくことが家庭づくりのすべての基礎になります。

会話を増やすためには、①朝のあいさつをする②全員で夕食をとる日を決め、一緒に食事をする③子どもに家事の役割を与える④一緒にスポーツをする⑤地域のボランティアに参加するなど考えられます。家族みんなの工夫でそれぞれの家庭にあった楽しい「家庭の日」を作ってください。

問合せ先

県社会活動推進課
☎52-961-2111

鬼みち案内人の会 研修会参加者募集

鬼みち案内人の会では「瓦」と「鬼のみち」の理解を深めながら、周知していくことを目的に研修会を開催します。

“美しい日本の歩きたくなるみち50選”のひとつでもある

「鬼のみち」の魅力をいっしょに探ってみませんか。

とき 2月22日(木) 午前10時
(現地集合) 正午(予定)

内容

- ・瓦工場見学／岩福セラミックス 鴨ヶ橋工場（稗田町）（集合場所）
- ・ビデオ映像鑑賞／かわら美術館シアター（1階）（工場見学後移動）

定員 20人（先着順）
参加費 無料

主催 鬼みち案内人の会（あいち観光ボランティア・ガイドの会、高浜市観光協会登録）
※直接電話で申し込んでください。

※「鬼のみち」ボランティア・ガイドの会員募集もしています。
※詳しくは問い合わせください。

申込・問合せ先
宇井 ☎52-6373

上田 ☎52-0928

・サロン赤窯・木・土・日
☎52-69000

